

歯列の乱れに
着目！

口腔粘膜疾患と 舌痛症への 対応法

監修 ● 天笠光雄

著 ● 塩沢時子・塩沢真穂・塩沢育己

「原因がわからない」「治療法がわからない」
と決めつける前に実践したいこの一手

再発性
アフタ

腫瘤

白斑

褥瘡性
潰瘍

血腫

咬傷

舌の
灼熱感

舌の
違和感

舌の
痛み



はじめに

口腔軟組織に生じる異常は、長期間放置すると、難治性になったり重大な疾患に移行したりするおそれがあります。

軟組織疾患の治療法としては、疾患部への薬物の貼付や疾患部の切除で対応することが多く採用されています。しかし、軟組織疾患を誘発する根本的な原因を除去しないとその疾患はくり返し発症し、完治することはありません。

口腔軟組織疾患には、

- ・感染症状として現れるもの
- ・全身疾患の部分症状として現れるもの
- ・いまだ原因が不明なもの

などがありますが、口腔内の硬組織、すなわち歯や補綴物が原因で発症するものも少なくありません。

歯が原因となる場合には、歯並びや噛み合わせ(被蓋)の異常がかなりの割合で影響しており、補綴物が原因となる場合には、その形態異常が影響することが多くの症例で認められます。

今回、歯や修復物との関係を通して、一般の臨床でよく見られる口腔内に生じた粘膜疾患症例とそれらの治癒、症状消退の経過を供覧することとしました。その上で、原因と考えられる要素を整理し、その原因に対する対応について考えていきたいと思えます。

目次

はじめに	2
------	---

PART 1 舌や頬粘膜、口唇に見られる粘膜疾患への対応法

CASE 1 上唇にくり返し生じた口内炎(再発性アフタ)	6
One Point 補綴物の形態修整にあたって	8
再発性アフタ	9
CASE 2 下唇にくり返し生じた口内炎(再発性アフタ)	10
CASE 3 下唇に生じた腫瘍	14
CASE 4 下唇にくり返し生じた褥瘡性潰瘍	16
One Point 褥瘡性潰瘍	17
CASE 5 下唇に生じた血管腫	20
CASE 6 頬粘膜に生じた白斑	22
One Point 喫煙習慣は口腔粘膜と歯の接触摩擦を助長する	23
CASE 7 頬粘膜に生じた傷(咬傷)	24
One Point 歯並びや噛み合わせの異常があると、なぜ口腔軟組織に影響を及ぼしやすいのか?	26
CASE 8 頬粘膜に生じた血腫	28
One Point 一般的な血腫の処置方法	29
CASE 9 頬粘膜の咬傷ならびに頬粘膜移行部および顎堤の白斑	30
One Point 第二大臼歯の削除修正	33
最後方歯の影響を見逃さない	33
CASE 10 頬粘膜移行部に生じた白斑	34
One Point 上顎歯の唇・頬側傾斜について	37
CASE 11 頬粘膜に生じた腫瘍	38
CASE 12 欠損部顎堤に生じた白斑	40
CASE 13 舌にくり返し生じた口内炎(再発性アフタ)	42
CASE 14 舌の側面に生じた傷(再発性アフタ)	46
One Point 下顎歯の舌側傾斜について	49

CASE 15 舌の側面に生じた褥瘡性潰瘍	50
One Point 義歯の設計にも要注意	51
CASE 16 舌尖部に生じた腫瘤	52
CASE 17 舌側縁に生じた白斑	56

PART 2 舌に特別な異常が見られないのに ピリピリ痛む舌痛症患者への対応法

舌痛症とは？	60
・舌痛症の原因	60
・舌痛症患者の症状と口腔内所見	60
・舌痛症患者の対処方法	61
CASE 1 舌側縁のピリピリ感、ヒリヒリ感（灼熱感）	62
CASE 2 舌尖部および左側舌のピリピリ感	64
CASE 3 舌に違和感があり、前歯に触れると痛い	66
CASE 4 右側舌の痛み	68
CASE 5 舌尖部と左舌側縁のしびれ感、ピリピリ感	70
CASE 6 舌が痛い	72
CASE 7 歯石除去後に生じた味覚異常と舌尖部の灼熱感	76
CASE 8 会話中に舌が痛い	78
CASE 9 くり返す舌の痛みや違和感	80
One Point 舌痛症の患者は、気になる部位を探す傾向にある	83
おわりに	84
監修者・著者紹介	88

PART 1

舌や頬粘膜、口唇に見られる 粘膜疾患への対応法

CASE 1

上唇にくり返し生じた口内炎
(再発性アフタ)

63歳 男性



症状

症状▶ 上唇に2か月に1度の頻度で口内炎がくり返しできる。

口腔内初見▶ 1. 上唇小帯付近にアフタと硬結が見られる。
2. 口腔内の状態は 111 に歯冠補綴物 (硬質レジンジャケットクラウン) が装着され、111 ともに唇側傾斜し、加えて歯頸部の豊隆が大きい (過豊隆) (図1-1)。



これらの症状の原因は？

疑われる原因▶

- 原因 1 火傷
- 原因 2 歯ブラシや硬い食べ物が当たってできた外傷
- 原因 3 咬傷
- 原因 4 口腔内硬組織 (歯・補綴物) との接触・摩擦による口内炎
- 原因 5 全身的疾患に付随する口内炎

原因の特定▶

1. 最近熱いものでやけどした記憶はないので、原因1ではない。
2. 何年もくり返し同じ部位に生じるとのことで、原因2ではない。
3. 部位的に咬む可能性はないので、原因3ではない。
4. 歯と接触する部位に発症しているため、原因4が疑われる。
5. 疲労やビタミン不足など、全身状態との関係は否定できない。

原因に応じた対処法は？

対処方法と術後経過▶

- 歯頸部の過豊隆は、隣在する天然歯の豊隆を参考にして、最大豊隆部が隣在歯と同様の曲線を描くように修正した (図1-2)。
- その後、硬結は消失し、再発性アフタは生じなくなった (図1-3)。

図 1-2



図 1-3



One Point

補綴物の形態修整にあたって

CASE 1は補綴物の形態修正であったが、有髄歯の形態修正を行う際には、削除はエナメル質内にとどめることが重要である。

補綴物の材質が影響する場合は、異なる材料による再製作が必要な場合もある。

One Point

再発性アフタ

再発性アフタは、口腔内に定期的あるいは不定期にアフタの再発をくり返す疾患である。その成因はペーチェット病との関連や免疫的機序が示唆されているが、原因は明らかでなく、咬傷などの外傷の後に生じやすいために物理的的刺激が誘因の1つであるとする説もある。

治療方法としては、対症療法や局所療法が中心に行われている。すなわち、歯の鋭縁部の削除・研磨や軟膏塗布、薬物の投与などである。これらの方法では、アフタは一時的に改善するものの再発をくり返すことが多い。そこで、アフタと歯の関係を詳細に検討したところ、アフタの発生には

歯の変位が関係している場合が多いことが明らかになった。

歯が変位（捻転、傾斜、転位、挺出）することにより、部分的に被蓋関係が変化したり、歯列弓が乱れ、変位した歯と隣在歯との移行部が歯列から頬舌的・上下的に突出したりする。そのことによって、口腔軟組織を咬んだり、あるいは強く接触したりしてアフタを生じさせるものと考えられる。したがって、粘膜咬みを起こす歯や、粘膜と強く接触する歯の形態を整えないかぎり、再発性アフタを治癒させることはできない。

A 再発性アフタ

● 27歳 男性

図 1-4



- 中学生の頃から同じ部位にくり返し口内炎ができる（図 1-4）。患者は遺伝性的なものだと思っていた。
- 4]の鋭利な近心隅角と歯列弓から突出した近心唇側面隆線により上唇が傷つけられた（図 1-4の矢印）。
- 図 1-2と同様に、4]の唇側面の形態修正を行ったところ、その後の再発はない。

B 上唇の再発性アフタまたは褥瘡性潰瘍

● 27歳 男性

図 1-5



図 1-6



- 2]の鋭利な遠心隅角と切縁により上唇が傷つけられた（図 1-5）。
- 2]の鋭利な遠心隅角と切縁の角を取る要領で形態修正を行った（図 1-6）。

【監修者略歴】

天笠光雄 あまがさ てるお

1970年 東京医科歯科大学歯学部 卒業
1974年 東京医科歯科大学歯学部第一口腔外科 助手
1981年 東京医科歯科大学歯学部第一口腔外科 講師
1989年 東京医科歯科大学歯学部第一口腔外科 助教授
1991年 東京医科歯科大学歯学部第一口腔外科 教授
1999年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
顎顔面外科学分野 教授
2011年 東京医科歯科大学名誉教授
日高病院歯科口腔外科顧問

<所属学会>

日本口腔衛生学会
日本癌治療学会（功労会員）
日本口腔外科学会、日本口腔科学会、日本口腔腫瘍学会、日本歯科薬
物療法学会、日本顎関節学会、日本口蓋裂学会、日本口腔粘膜学会、
日本歯科医学教育学会、日本顎変形症学会、日本唾液腺学会、日本口
腔顔面神経機能学会（名誉会員）

【著者略歴】

塩沢 時子 しおざわ ときこ

1970年 東京医科歯科大学歯学部 卒業
1971年 東京医科歯科大学歯学部第一口腔外科 医員
1979年 帝都高速度交通営団診療所歯科 勤務
1982年 帝都高速度交通営団診療所歯科 歯科医長
2004年 東京地下鉄株式会社医療センター 歯科医長
2011年 東京地下鉄株式会社健康支援センター 歯科医長

<所属学会>

日本口腔外科学会、日本口腔内科学会、日本産業衛生学会

塩沢 真穂 しおざわ まほ

2008年 北海道大学歯学部歯学科 卒業
2010年 東京医科歯科大学歯学部附属病院臨床研修医 修了
2014年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医歯学系専攻
先端材料評価学分野 修了
2014年 東京医科歯科大学歯学部附属病院義歯外来
（部分床義歯補綴学分野）医員
2017年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医歯理工学専攻
口腔機能再建工学分野 助教

<所属学会>

日本歯科理工学会、日本補綴歯科学会、日本デジタル歯科学会

塩沢 育己 しおざわ いくみ

1970年 東京医科歯科大学歯学部 卒業
1973年 東京医科歯科大学歯学部歯科補綴学第二講座 助手
1995年 東京医科歯科大学歯学部歯科補綴学第二講座 講師
2000年 東京医科歯科大学歯学部附属病院インプラント治療部 助教授
2004年 東京医科歯科大学歯学部附属病院総合診療部 准教授
2010年 東京医科歯科大学特別診療 教授
2012年 東京医科歯科大学歯学部附属病院 臨床教授

<所属学会>

日本補綴歯科学会（名誉会員）、日本歯科理工学会、口腔病学会（名誉会員）

歯列の乱れに着目！口腔粘膜疾患と舌痛症への対応法

2019年 5月13日 第1版第1刷発行

監修 あまがさ てるお
天笠 光雄
著 しおざわ ときこ
塩沢 時子 / しおざわ まほ
塩沢 真穂 / しおざわ いくみ
塩沢 育己
発行人 畑 めぐみ
装丁・デザイン ヒシキ カヨ
発行所 インターアクション株式会社
東京都武蔵野市境南町 2-13-1-202
電話 070-6563-4151
FAX 042-290-2927
web <http://interaction.jp>
印刷・製本 シナノ印刷株式会社

© 2019 インターアクション株式会社

Printed in Japan

ISBN 978-4-909066-16-9 C3047

定価は表紙に表示しています

禁無断転載・複写

落丁本・乱調本はお取り替えします